



九国 の 扉

キュウヒトビ

vol.22

2024

学校法人九州国際大学
学園広報誌

本音で話せる、
本気で応える、
先生がいる。

九国生 × 先生

誌上

クロストーク

Cross Talk



[特集]

「九国生」× 先生 誌上クロストーク

◎キュウヒト探訪 vol.6

九州国際大学
附属中学校副校長

九州国際大学
附属中学校教諭

吉田 忠司 & 山田 峻太郎

◎アスリートたちの夏 ◎キャンパスレポート

◎学校法人九州国際大学 令和5年度決算報告

本音で話せる、
本気で応える、
先生がいる。

先生 × 九国生

誌上
クロストーク
CrossTalk

「九国」では、ICTによる効率化を進め、さまざまな教育改革に取り組んでいます。しかし、効率一辺倒ではありません。ICTの活用により生まれた時間を使い、より本質的な教育に力を注いでいます。学生や生徒とのリアルな対話もそのひとつ。直接会って、目と目を合わせて話す。

学生や生徒が今、何を思っているのか？どんなことに悩んでいるのか？
本音に耳を傾けることでの確かなアドバイスや指導が可能になります。
何気ない雑談が人生や将来の深い話に発展することもある。

だから、こんなこと話していいのかな？といった遠慮は無用です。

「九国」には、あなたの本音に本気で応え、支える先生がいます。

先生との対話が、そのひと言が、
私を変えた！一歩前に踏み出せた！

準備が9割！

入念な「準備」が
「自信」につながることを、
2度目のプレゼンで学んだ。

面白そうだから

やってみない？

3人で夢中になって
取り組むうちに将来の夢も、
友だちとの距離も近づいた。

キミならできる！

絶対できる！

いつも見守ってくれている。
その安心感が
大きく成長させてくれた。

University

九州国際大学
現代ビジネス学部
地域経済学科4年生
渋谷 龍星さん



現代ビジネス学部
馬場 崇豪 教授



High School

九州国際大学
付属高等学校3年生
濱 綾花さん
加藤 愛理さん
安永 ゆうなさん



高田 一樹 先生



Junior High School

九州国際大学
付属中学校3年生
森崎 伊織さん



山田 峻太朗 先生



説得力のあるプレゼンを行うためには
思いつきでは通用しないことを痛感しました。

——まずは、お二人の出会いを教えてください。

馬場 私は地域経済学科のスポーツマネジメントコースでスポーツ科学を専門に教えています。スポーツ科学とは、たとえば足が速い人はどのような力を発揮して、どのような動きをしているのかを物理学や力学を用いて明らかにする学問です。渋谷君は入学して間もなく私の元を訪ねてきたのでよく覚えています。

渋谷 中学・高校から続けている陸

——渋谷さんは2年生の時に初プレゼンに挑戦したそうですね？

渋谷 はい。でも、内容もスピーチも中途半端、不完全燃焼で終わってしまいました。「準備が9割」。発表後、先生がいつもおっしゃっていた言葉を思い出しました。だから4年生になって先生から再度プレゼンへの登壇を勧められた時は、よし、リベンジしよう。説得力のあるスピーチを行うために原稿を何度も推敲し、時間をかけて収集・分析したデータはわかりやすいスライドやグラフにするなど、入念な準備を重ねました。途中で、行き詰まることもありましたが、そのつど先生が相談に乗ってくださ

上の記録を伸ばしたいと考えていた時に馬場先生の存在を知りました。すぐに研究室のドアを叩いて教えを乞い、2年生になって馬場ゼミを選択しました。

馬場 陸上のパフォーマンスを向上させたいという目標があったからか、講義ではいつも真ん中の席で熱心に聴いていましたよね。物おじせずに話しかけてくるところも印象的でした。

り、リハールにもつきあってくださいました。

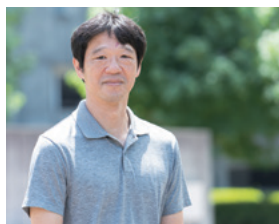
馬場 本番のスピーチは実に堂々としていました。2年前に比べると見えるほど成長しましたね。

渋谷 万全の準備をして臨んだからか、ステージに立つとなぜか自信が湧いてきて、大勢の人の前でも臆することなく話すことができました。

馬場 自分の頭で考えて、課題をひとつひとつクリアにしていくな。そうやって地道に準備を重ねたことが大きな自信につながったのだと思います。

九州国際大学
現代ビジネス学部

馬場 崇豪 教授



九州国際大学
現代ビジネス学部
地域経済学科4年生

渋谷 龍星さん



高校までの受け身の勉強と異なり、大学では自分の頭で考え、試行錯誤をくり返しながら答えにたどり着くことが求められます。渋谷君が2度にわたり挑戦したプレゼンは、そのためのいいトレーニングになったと思います。考える力、そして準備する力は意識して訓練しないと身につけません。なにごともしっかり取り組める大学時代こそ、手に入れるチャンスです。それはきっと、将来どのような職業に就いても通用するスキルとなるはずです。

人生を、未来を変える。
本当の自分と出会う大学。

九州国際大学



2学部3学科10コース

夢を目標に変える一歩がここから始まる。

本学は、法学部と現代ビジネス学部の2学部があり、法学部では社会のルールである法律を学び実践することで地域社会の維持・発展に貢献できる人材の育成をめざしています。現代ビジネス学部では、『グローバル』な視点のもと、地域経済や目まぐるしく変わる国際情勢を理解し、学んだ知識を活用して地域社会の維持・発展に貢献できる人材の育成を図っています。いずれも教育目標を達成するためにコース制を敷いて教育効果を高めています。他大学に比べ、ゼミや地域活動、国際交流など実践的な学びが中心であることも本学の特長です。

ともに学び、高めあうことができる教員や仲間との出会いを通して自分の未来を拓くことができる大学。本学に入学すれば、人生が変わるほどの出会いが待っています。

4年間で必ず
大きく成長する

九国大
学びのポイント

1年次から始まる、実践教育の柱 伝統のゼミ活動

地域の人々や行政、企業と連携しながら、
アクティブに学ぶ力を身につけます。

使える語学力、国際感覚を養う 留学・海外実習

国際大学にふさわしい多彩なプランをラインアップ。
国際社会学科は海外体験が必須です！

入学前、入学後も不安にさせない 入学前&初年次教育

初めての大学生活にスムーズに溶け込めるよう、
きめ細やかな支援体制で手厚くサポート！

くわしい情報は
九州国際大学
ホームページへ



2度目の挑戦でリベンジを果たしましたね。

——準備を怠らないことのほかに、どんな力が身につきましたか？

渋谷 以前の僕は後先を考えず思いつきで動くことが多かったのですが、プレゼンやグループワークを通じてものごとを論理立てて考えられるようになりました。おかげで就活も落ち着いて取り組み、企業の営業職の内定をいただくことができました。

馬場 渋谷君のように自ら行動を起こすのは勇気がいることです。しか

し、一歩踏み出さないと景色は変わりません。思いつきでもいいので興味を持ったらずは「やってみる」。たとえうまくいなくても結果的に人生の選択や目標につながることもあります。ただ渋谷君の場合、突っ走るとまわりが見えなくなるところがあるので、そこは気をつけないとね(笑)。

渋谷 先生は何でもお見通しです(笑)。肝に銘じます！



先生からの
メッセージ

探求学習に参加して、将来につながる 学びと友情を育むことができました。

——今回、3人はどのようなプログラムに取り組んだのですか？

高田 本校では生徒自らが課題を見つけて学びを深める「総合的な探求の時間」を設けています。その一環として今回参加したのがツールド九州の高校生向け探求学習プログラムです。九州で開催される自転車ロードレースを契機に行われている探求学習で、地域が抱える課題の解決策を考えることから始まり、ゴールは福岡県庁でその成果をプレゼンする取り組みです。そこ

で、事前に出してもらったテーマが近かったこともあり、「面白そうだからやってみない？」と3人に声をかけました。
安永 まずは「北九州市に住み続けてもらうために自分たちは何ができるか」をテーマに3人で話し合いを進め、「医療」と「言語」という2つのキーワードに的を絞って内容を掘り下げていきました。

——最終的にはどういった内容のプレゼンを行いましたか？

加藤 北九州市は全国の市町村と比べ医療施設が充実しているけれど、言語の壁により北九州市に暮らす外国人の方々にそれがうまく伝わっていないことがわかりました。その事実を知って

専用のワッペンも考案しました。
安永 課題を見つめるまではいいけれど、そこから実現可能な解決策を考えるのはすごく難しかったです。

もらい、外国人の患者さんにも安心して病院が利用できる環境づくりを提案しました。

加藤 福岡県庁でのプレゼンはとても緊張しました。でも、知事が真摯に耳を傾け、熱心に聞いてくださる様子を見ていたら、自分たちの意見が認められていると実感できて楽しくなってきました。

濱 具体策として、多言語に対応した病院内標識、擬音語やイラストを用いた患者さんの病状把握、医師や看護師がすぐに対応できるよう院内で付けてもらう

濱 スタートからプレゼンまで半年近くかったけど、達成感が大きかったです。



九州国際大学
付属高等学校

高田 一樹 先生



九州国際大学
付属高等学校3年生(左から)

濱 綾花さん
加藤 愛理さん
安永 ゆうなさん

県庁でのプレゼンは緊張したようですが、
大きな手応えがあったようですね。



目標へ、その先の未来へ。
選ばれるには理由がある。

九州国際大学附属高等学校



第一志望は「九国」！ 北九州の私立高校のイメージを変える。

本校は、2010年の男女共学化以降、福岡県内で15年連続最多の受験者数を集めています。さらに、滑り止めではなく第一志望の高校として入学する生徒が半数を超え、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを塗り替えてきました。このことは「新しい学校を創る」という本校のコンセプトに共感していただいたことの表れだと感じています。今後も、学校という「器」を変えるだけでなく、生徒たちにとって意義のあることであれば、前例にとらわれることなく「中身」を改革していく。それこそが私たち附属高校の目標なのです。地域最高水準のICT教育の導入もその一例。大学受験のその先の未来にわたり、主体的に学び続け、新時代を切り拓くことができる「骨太の人物」の育成に力を注いでいます。

将来にわたって
主体的に学ぶ力を育む

附属高校
学びのポイント

進学や目標に対応した **5クラス編成**

「難関」「S特進」「特進」「進学」「トップアスリート」の5クラス。
進級時にはクラス替えも可能です。

地域最高水準ICTを活用 **1人1台タブレット端末**

全教室にインタラクティブプロジェクターを設置。
地域トップレベルのオンライン授業も好評です。

未来を創る国際人を育む **グローバル教育・海外留学**

ネイティブスピーカーによる授業、姉妹校・友好校との国際交流などにより
英語の4技能をバランスよく養成します。

くわしい情報は
九州国際大学附属高校
ホームページへ



——今回の探求学習で将来につながる学びや気づきがありましたか？

加藤 普段はあまり接することのない地域や企業の方と交流する機会が多くあり、とても刺激的でした。私は将来、スターバックスで働くのが夢ですが、取材先でJALのCAさんの接客意識に触れ、モチベーションが上がりました。

濱 私は中学校の社会科教師をめざしています。プレゼン資料を何度もつくり直すうちに苦手意識があったパソコンが大好きになり、教師に必要なスキルアップにも役立ちました。

安永 中3の時に病気になる、生きるのがつらい時期がありました。看護師

である母や病院の先生に助けられた経験から将来は医療に関わりたと思っていますが、今回の活動を通してその意志が固まりました。

高田 3人はこれまであまり交流がなかったにもかかわらず、協力しあって前向きに取り組んでくれました。半年間の取り組みでお互いの距離もグンと近づいたようですね

濱・加藤 ホント！探求学習がなかったら、ただの通りすがりで終わっていたかも（笑）。

安永 将来につながる友ができるかもしれない（笑）探求学習。おすすめです！

先生からのメッセージ

探求学習では、課題を見つけ、その解決策を探ることはもちろん、自分の将来をより充実させるためには何をすべきかというところまで考えを発展させてほしいと思っています。その点、彼女たちは何らかの答えにたどり着いたようです。高校生とはいえ18歳になれば成人ですから、私も大人の目から見たアドバイスが心げました。関わった地域や企業の方々も大人の視点で向き合ってください、彼女たちにとっては大人の自覚を身につけるいい機会にもなったと思います。



Junior High School

本音で話せる、
本気で応える、
先生がいる。

九州生 先生
CrossTalk

クラスのみんなと一緒に、
音楽祭の会場を魅了する
パフォーマンスができました。



——入学したころの森崎君は
新しい環境に
とまどっていたそうですね？

山田 私は森崎君が1、2年生のときに担任を受け持ちましたが、入学して最初の頃は、クラスメイトと人間関係をどのように築けばよいか悩む姿をよく見かけました。新しい環境で人間関係を築いていくことは、実はとても難しいことです。2年生になった時、初めて本音を打ち明けてくれたよね？

森崎 中学生になり、新しい人間関係をどのようにすればよいのかとまどいました。僕自身、どうしたらよいかわからず苦しくて。すると先生は、自分の気持ちをまっすぐ相手に伝えることが大切だよ、とアドバイスしてくださいました。そこで、僕が悩んでいることや思っていることを、で

きるだけまっすぐ丁寧に伝えることを意識して過ごすようにしました。そうすると、新しい出会いや気づきがあり、良好な関係を築くことができるようになりました。

——森崎君が悩みを乗り越える
ことができたきっかけは？

山田 彼が自分の気持ちを正直に話したことで、まわりの生徒たちと少しずつ関係が深まり、学級委員になるなどリーダーシップを発揮できるようになりました。いろんなことにチャレンジしていく森崎君の姿を見て、クラスメイトとの理解も深まっていったのだと思います。2学期に行われた音楽祭ではみんなと協力しながら大役を果たし、友人との関係もグンとよくなりました。
森崎 付属中の看板行事といえる音楽祭のクラス合唱コンクールで、私たちのクラスはどんなクラスかを紹

——先生からかけられた言葉で
印象に残っているのは？

介する時間があります。そこは、どのクラスも力を入れるんです。メンバーと何度も打ち合わせとリハーサルをくり返し、本番では無心になって演じた結果、会場が大爆笑に包まれました。残念ながら金賞は逃したけれど、ネタの面白さは一番だったと多くの人から声をかけてもらいました。何よりうれしかったのは、みんなと助け合いながらひとつのものをつくりあげることができたことです。

森崎 僕が困っているときは「お互いの気持ちを見つめなおすことも必要だよ。キミならできる！絶対できる！」少しでもうまくいったときは「ほらね、やっぱりキミはできる！できるんだ！」と、いつも励ましてくだ

さいました。今ではどうしたらよいか悩んだときは、頭の中で先生の言葉が自動的にリピートされるようになります(笑)。おかげでまわりに目を向けて自分の気持ちを整理することができています。

山田 現在、私は担任ではありませんが、食堂や廊下で見かけたら必ず声をかけるようにしています。友だちと楽しそうに過ごしている姿を見ると、ああうまくいってるなと。

森崎 食堂にちよくちよくやってきて、しょうもない話をしてきますよね(笑)。

山田 しょうもない話で悪かったな(笑)。でも、本当はもう心配していません。今の日常を当たり前と思わず、感謝の心を忘れずに、好きな道を探求していつてほしいですね。心が通じる友達もできたことだし、キミならできる！絶対できる！大丈夫。

九州国際大学
付属中学校

山田 峻太郎 先生

九州国際大学
付属中学校3年生

森崎 伊織さん



自分の限界を超えていく。

広がる未来は想像以上。

九州国際大学附属中学校



めざすのは未見の私の発見。

「K点突破」を合言葉に自分の限界を超える。

K点とは、スキージャンプ競技でこれ以上跳ぶと危険である「極限点」を意味しますが、実際の競技会の場合、これを超えないと入賞はむずかしいと言われています。私たちの心の中にもK点があります。しかし、それは思い込みで過ぎず、突破することは可能なのです。本校では生徒たちが無意識に引いているラインをK点として、これを突破し「未見の我」を発見できるように指導しています。K点突破を合言葉に、自分の限界を超えていく。生徒のやる気、積極性を引き出すさまざまな教育体制を整えています。また、知・徳・体のバランスのとれた人間性の涵養をめざし、独自の体験学習を実施。勉強だけでなく、友情やたくましさ、思いやりにあふれる、ゆたかな心の育成にも力を注いでいます。

私立ならではの
先進的教育プログラム

附属中学校
学びのポイント

独自の教育設計で、より高い進路の実現へ **高校自由選択制**

高校受験は学力形成の好機。

進学に当たっては高校自由選択制をとっています。

先進的教育環境が学力向上をサポート！ **1人1台タブレット端末**

情報のやりとりや調べ学習、レポート作成など
ICTの活用で学習効率をアップ！

基礎から応用へ充実の学習プログラム **PET&ACT**

各学期末に暗記型テスト(PET)、

定期考査で記述形式テスト(ACT)を実施。総合的な学力を養います。

くわしい情報は
九州国際大学附属中学校
ホームページへ



たくさん悩んだこともあったけど
心通じる友だちもできたよね。
もう大丈夫！



先生からの
メッセージ

それぞれの生徒には個性があり、中学校に入学して新しい人間関係を築いてく際は誰もが悩みを抱えたりするものです。そのようなとき、私には専門のスキルはありませんが、どのように対応するかじっくりと時間をかけるようにしています。絶えず様子を気にかけて細やかに声をかけ、親しみやすい口調を心がける、何かあったらなんでも話せる環境をつくるようにしています。森崎君は、探究心にすぐれ、好きなことに集中して取り組むタイプなので、今後はそういうところもますます伸ばしてほしいですね。

キュウヒト探訪

Interview

VOL
6

チャレンジの連続が、
新しいことや変化を
恐れない風土を培った。

来年、九州国際大学付属中学校は創立25周年を迎えます。

現・副校長の吉田先生と教諭の山田先生は
付属中学校開校当初の教員とその教え子でした。
お二人に開校時の学校の様子や、これまでの変遷、
今後の展望などについてお話を伺いました。

九州国際大学
付属中学校副校長
吉田 忠司

九州国際大学
付属中学校教諭
山田 峻太郎

一から自分たちで。新しいことにトライし続けた日々。

**開校当初の付属中は、
どのような様子でしたか？**

吉田 私が本校に赴任したのは2001年、開校して2年目でした。

それまでは公立の中学校に勤めており、授業や行事などさまざまな点で自由度が高い私立の学校で教育に携わってみたいという思いがありました。

山田 私は開校した2000年に一期生として入学しました。その後、大学を卒業し、銀行勤務を経て、2016年に教員として再び母校に戻ってきました。付属中学校に入学した時は中高一貫校ということもあり、期待が大きかったのを覚えています。

吉田 私も特色ある教育をめざし、意気揚々とやって来ましたが、他の教職員のみなさんも、これから学校の歴史をつくっていくという意欲にあふれていました。しかし、すべてを自分たちで一からつくっていくかなければならないのは大変でしたね。

山田 お手本がなく、やることすべてが初めてのことがばかり。中・高を通じて常に新しいことにトライし続ける6年間でした。

吉田 山田先生がおっしゃる通り、まさにチャレンジの連続でした。先生と生徒が一緒になって試行錯誤をくり返し、時には失敗しながら学校づくりに取り組んできました。

山田 でも、逆に新しいことや変化への不安や戸惑いはなかったですね。

それは今の職員室にも受け継がれていて、新しい挑戦に対し、どの先生も非常に前向きです。生徒や学校にとって有益であれば前例がなくてもどんなやろうみたいな。

吉田 その典型が長崎街道ウォークです。木屋瀬から小倉城までの25kmを歩く体験学習が始まったのは21年前、職員室での雑談がきっかけでした。一期生が3年生になる頃、巷の同学年の子どもたちは受験勉強の真っ最中なのに、うちの生徒は何の苦労もなく高校に上がっていく。果たしてこれで大丈夫か？鍛練の機会が必要では？じゃあみんなで歩こうかと先生たちの間で盛り上がりました。普通なら単なる雑談で終わるところを面白そうだからやってみようという準備を進め、またたく間に実現してしまいました。

山田 私が去年から始めた「教科横断型授業」も同じです。通常、教科の垣根を越えて学ぶ授業は1コマ限定で行われることが多いのですが、それをひとつのテーマに対し、1年間みっちり学ぶ授業をやりました。長丁場になり、教科の枠を超えるのでけっこう準備が大変なんです。ところが、ほとんどの先生がうちのクラスでもぜひやりたい、話を聞きたいといってくださって、この学校の先生たちはホントにすごいなと。現在、授業のスキームを共有するため、体系化に取り組んでいるところです。

他校にはマネのできない先進的、独創的な中学校教育。

**中高一貫校から中学校が
単体化したのはなぜですか？**

吉田 2クラス80名の中高一貫校として出発した本校ですが、80人の生徒がいれば80通りのめざす進路や目標があり、学力も適性も異なります。

多様な生徒たちに対し、たった2クラスで6年間、大学受験まで見据えた対応が難しくなり、転校する生徒が増える一方、入学する生徒が減っていくようになりました。そのような状況を打破するために、2009年に学校改革を行い、中高一貫部から中学校の単体化へと踏み出しました。

減少した入学者数を回復させるためには他校とは異なる本校の魅力を引き出すことが必要です。そこで、中高一貫校時代の経験を活かし、本校ならではの先進的、独創的な中学校教育を展開することにしました。

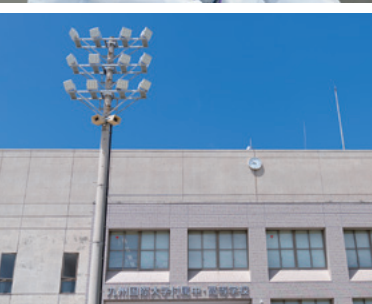
山田 ここでしか得ることのできない質の高い学びを提供していくということですね？

吉田 中学校は義務教育なので教科に偏りのない一定水準の学力と、生徒の希望進路に応じた学力をつけさ

せることが本校の教育の柱です。しかし、それだけではありません。ものごとの本質を見極めるためには断片的な知識の集積だけでなく、多角的なものを見るスキルも必要です。

山田 まさにそのような力を身につけさせることが「教科横断型授業」の目的のひとつです。ものごとの分析の仕方や課題の見つけ方、自分の意見をまとめ、表現する力など、今すぐ受験や進学実績に結びつかないとしても、よりよい人生を生きるために欠かせないスキルです。

吉田 同様の取り組みを行っている学校もあるようですが、本校では目の前にいる生徒の反応を見ながら、必要に応じてそのつど改良を加えながら内容を進化させています。独自のカリキュラムや体験学習を通して、生徒たちには一生もののスキルを身につけてほしいですね。近年、一定数の入学者を迎えることができるようになったのは、本校の挑戦的取り組みに対する、みなさんの期待感の表れだと思っています。





結局、この学校が好き。今も昔も変わらない愛校心。

付属中学校時代の山田先生は、
どんな生徒さんでしたか？

吉田 「手のかかる子ほど可愛い」といいますが、山田先生には手こずった記憶がありません（笑）。やんちゃをするクラスメイトを横目で眺めているけれど、クラスで浮いているわけでもない。1人でスクスクと育ったという感じがすかね（笑）。

山田 要は面白みのない生徒だったんですね（笑）。

吉田 しかし、教員として戻ってきたからは持ち前の力を存分に発揮しています。生徒の面倒見もいいですし、社会人として働いた経験が生きているのではないのでしょうか。

山田 社会に出たものの教員になる夢が忘れられず、働きながら教員免許を取得しました。そして、せっかく母校というホームグラウンドに戻るからには、思いきりやってみよう。黙っていても何も変わらないから声を上げようと決めました。それを受け止めてくれる土壌があることはわかっていましたから。おかげで伸び伸びとやらせていただいています（笑）。結局、この学校が好きなんです。だから、もっといい学校にしたいという思いは常にあります。

吉田 先生も生徒も愛校心が強い。そこは今も昔も変わりませんね。

地域とつながりながら、北九州市を代表する中学校へ。

付属中学校の今後の展望について
教えてください。

吉田 本校は2025年に創立25周年を迎えます。25年の間に多くの先生たちが学校づくりに魂を注いできました。開校以来のチャレンジ精神は脈々と引き継がれ、今や本校の風土として根づいています。今後は、山田先生をはじめとする若い先生たちがこれまで培ってきたものに磨きをかけ、新たな魂を吹き込みながら次代へとつないでいってくださるでしょう。

また、本校は北九州市に立地する学校です。かつての勢いはなくなつたとはいえ、自然と歴史に恵まれ、ものづくりの分野では先進的な取り組みも多い北九州市は、今でも大いなるポテンシャルを秘めています。生徒たちには地域と連携した学習を通じてこの街のよさを知ってもらい、大人になってから「北九州市はいい街だよ」と、いろいろな形で発信してもらえたらうれしいですね。

創立25年という地域ではまだまだ若い、ひよつこの学校です。これからも地域とのつながりを大切にしながら、本校が北九州市を代表する中学校として認めてもらえるよう努力と年月を重ねていきたいと考えています。

アスリートたちの夏～あの日の笑顔も涙も、私たちは忘れない。～

University

[ウエイトリフティング部]

7月5日～7日に大阪府羽曳野市のはびきのコロセアムで開催された第63回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会に男子選手が参加し、昨年の団体優勝に引き続き、今大会も優勝して王座を死守しました。

女子選手も同会場で開催された第23回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会に出場し、団体3位入賞を果たしました。

女子87kg級の長島奏選手は、今大会で日本公認最高記録を更新しました。3月にタイ・ブーケット市で開催されたパリオリンピック選考を兼ねた国際大会「IWF World Cup」にも出場した選手です。今後の活躍が楽しみです。



[バドミントン部]

6月15日～20日に北九州市立総合体育館で開催された第73回九州学生バドミントン選手権大会に参加し、男子・女子ともに団体で優勝。

男子ダブルスは峰元・浅石ペアが**準優勝**。

男子シングルスは浦選手が**準優勝**。

女子ダブルスは川島・八色ペアが**優勝**。

石崎・松本ペアが**準優勝**。

女子シングルスは川島選手が**優勝**。

石崎選手が**準優勝**。

八色選手、松本選手がベスト4。



[バスケットボール部]

7月13日～15日に鹿児島県鹿屋市の鹿屋体育大学、鹿屋市体育館で開催された九州地区大学体育大会に参加しました。昨シーズンの入替戦の悔しさを忘れずに今シーズンのチームスローガンを「もっと強く」にしたチームは、優勝で大会を終えることができました。

2回戦 本学 113-83 宮崎大学

準々決勝 本学 94-72 第一工科大学

準決勝 本学 80-66 日本経済大学

決勝 本学 89-67 鹿児島大学



High School

全国大会・インターハイ

[バドミントン部]

2024年度 全国高等学校総合体育大会
バドミントン競技
女子学校対抗戦
ベスト8 東野有咲(3年)・本田希藍(3年)
原口樹璃(3年)・上田優明(3年)
栗山陽菜(3年)・津山心(2年)

女子ダブルス
出場 原口樹璃(3年)・小林色葉(2年)
出場 東野有咲(3年)・本田希藍(3年)

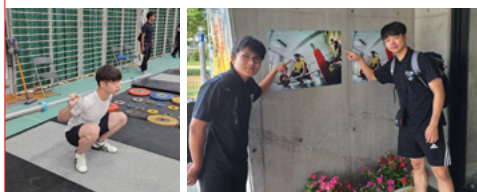
女子シングルス
ベスト8 栗山陽菜(3年)
出場 原口樹璃(3年)

男子ダブルス
出場 坂井大迪(3年)・久野雅(3年)



[ウエイトリフティング部]

2024年度 全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技
73kg級 出場 井上結天(3年)



[体操部]

2024年度 全国高等学校総合体育大会 体操競技
男子団体
出場 荒牧晴(3年)・田原煌大(3年)
中尾渉太(2年)・福田海翔(1年)

男子個人総合
出場 荒牧晴(3年)
田原煌大(3年)
佐熊拓人(3年)
吉田翔馬(3年)
中尾渉太(2年)
山崎蒼也(2年)
福田海翔(1年)



[陸上部]

2024年度 全国高等学校総合体育大会 陸上競技

200m 24秒76 谷本実優(3年) 準決勝進出

400m 56秒32 谷本実優(3年) 準決勝進出

4×100mリレー
47秒35 谷本実優(3年)・大庭羽純(3年)
仲西萌乃(2年)・桑田夢羽(2年)

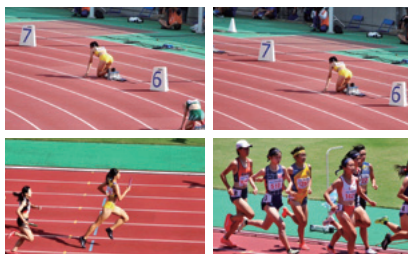
4×400mリレー
3分51秒33 谷本実優(3年)・大庭羽純(3年)
仲西萌乃(2年)・小田和華(1年)

800m 2分13秒74 野田七海(3年)

1500m 4分41秒60 永沼妃織(3年)

4分27秒91 岡本彩希(2年)

3000m 9分58秒94 岡本 彩希(2年)



Junior High School

バドミントン部 全国大会出場!

私たちは全国制覇を目指して日々の練習に励んでいます。今年度、団体戦では女子が市内大会で優勝し、県大会に駒を進めました。また、個人戦においては男子シングルス(牧野)が県大会・九州大会と勝ち上がり、全国大会出場を果たしました。

今年度は他校の素晴らしい戦いぶりを目の当たりにし、頂点に立つ厳しさを改めて感じさせられた夏になりました。来年度は今年度の悔しさをばねに更に更なる精神面・体力面を鍛える努力を重ね、悲願の全国制覇を目指して、今後も感謝の気持ちを忘れず、日々の練習をがんばります。



【第45回福岡県中学校バドミントン大会】7月30日・31日

シングルス

【男子】 牧野隆希(3年) **準優勝**

ダブルス

【女子】 池田莉琉(3年)・水原七菜(2年) **第3位**

【第53回九州中学校バドミントン大会】8月5日～7日

シングルス

【男子】 牧野隆希(3年) **第3位**

【第54回全国中学校バドミントン大会】8月21日～24日

シングルス

【男子】 牧野隆希(3年) 出場

付属中・高卒業生 松山奈未選手 バリーで銅メダル獲得

8月3日深夜、パリで開催されていた世界的なあの大会のバドミントン女子ダブルスで、付属中学校、付属高等学校卒業生の松山奈未選手が、志田千陽選手と共に銅メダルを獲得しました。

松山選手は在学中にバドミントン部のエースとして活躍し、卒業後は再春館製薬所でプレーを続けていました。



試合当日は、小倉北区の映画館「小倉昭和館」で行われたパブリックビューイングには、夜遅くの観戦だったにもかかわらずたくさんの方々が集まり、熱い声援を送っていただきました。学校法人初の世界的なあの大会のメダリストの誕生です。

松山選手、志田選手、感動をありがとうございました！
本当におめでとうございます！



法学部

法学部卒業生が 令和5年度司法試験に合格しました！

野村秀敏さんは2021年に本学法学部を卒業し、九州大学法科大学院(既修者コース)を修了後、令和5年度司法試験に初回受験で合格をしました。現在は法曹になるために司法修習を受けています。

現在の様子

私は現在、司法修習生として、検察官を目指して分野別実務修習に取り組んでいます。分野別実務修習とは、裁判所、検察庁、弁護士事務所に行き、実際の法律実務を学ぶというものです。そんな実務修習中の私が、特に今、頑張っていることは事実認定です。事実認定とは、簡単に言うと、証拠から実際にあったことを推測する作業のことですが、良い法律家は優れた事実認定が出来ると言われていています。将来の犯罪予防に寄与できる検察官になるために、少しでも正確な事実認定が出来るように修習生たちと日々努力しています。

後輩への メッセージ

皆さん、今、何か目標はありますか？目標のある人は、その目標についてより具体的なイメージを湧かせてみてください。今、何をすべきか見えてくるかも知れません。もし目標が無ければ色々な経験を積んでみてください。経験は、その人の視野を広げてくれます。視野が広がると、何がしたいかといった目標が見つかるかも知れません。



現在の野村秀敏さん



学生時代にSA (Student Assistant) 活動で後輩をサポートしていた野村秀敏さん(後列左から4人目)

現代ビジネス学部

八幡起業塾が発足、塾頭の座覇 駿くんに聞く！

このところの起業に対する関心の高まり、自営業者の子弟における跡継ぎ教育ニーズ、さらにはアントレプレナーシップ醸成への期待を背景に、起業家養成のための常設勉強会『八幡起業塾』が発足しました。スタート時のメンバーは、地域経済学科の学生を中心に2年～4年生の11名。事務局は経営コース内に置かれます。初代塾頭を務めるのは座覇 駿くん(経営コース村上ゼミ3年生)。写真は8月に韓国釜山のドンイ大学で看板イベント『K-Food Diploma』に参加した時のものです。食文化を通じたツーリズム実践の一環として、厨房体験によりホテルサービスを学びました。何ごとによらず経験と体験を重視するのが座覇くんの身上。「在学中にアパレル系の会社を起こすのが夢です。最初は規模を抑えたネット通販から始めますが、他社との差別化や、豊かなコミュニケーションによる信頼獲得がポイントだと思います」とのこと。本学建学の理念である塾的精神を体現するような活動です。



▲6月に行われた発足式の様子



▲向かって左端が座覇くん

地域の特性から考える国際理解とキャリア形成

国際社会学科の福西ゼミでは、北九州の産業構造や企業の国際戦略を通じ、異文化理解とコミュニケーションの意義について考察する取り組みを進めています。門司税関や北九州空港の訪問では、国際物流拠点としての役割や今後の展開について、地域の公的セクターの視点から学びました。安川電機や日本製鐵では、地域の産業構造を日本のリーディングカンパニーの立場から捉え、それら企業の国際戦略について考えました。こういった取り組みは、学生たちが概念的に捉えがちな「国際」の現場をビジネスの視点から理解し、グローバルな視野を育むための絶好の機会となります。特に、国際社会学科の学生は、そのようなセンスを基盤として、学内での専門教育、さらには海外での能動的な学びへと発展させていかなばなりません。現に、今年度の国際社会学科4年生の就職内定先には、地域社会の未来を国際的視点から捉えているような企業・組織が多く含まれています。本学科での学びにより、自らのキャリア形成と、未来社会の希望について深く考えていくことが期待されます。



▲門司税関にて



▲日本製鐵にて

High School

自分の将来を見つめる校内進学説明会

今年度も7月に、授業の時間を使って2・3年生対象に校内進学説明会を行いました。毎年60校以上の大学・専門学校に参加していただいています。3年生にとっては受験直前ということもあり、自分の志望している学校と他の学校とをすぐに比べることができ、自分の考えている進路を決定する良い機会になっています。2年生にとっても1年後を見据えて、自分の進路について考える貴重な時間となっています。

その他にも、大学の先生による出前授業も毎学期実施しており、本校では生徒が自分の将来について早い段階から考えられるような機会を数多く設けています。

多くの学びがある実習体験

高校では長期休みを利用して様々な実習を行っています。その一つとして、夏休みに九州歯科大学の先生方の協力で人体解剖見学を行っています。前半に講義を行いそこでは解剖のことはもちろんですが、最新の医療現場のことまで話をいただけます。後半は解剖された人体を見学するという内容になっており、様々な方の協力の下で普段絶対に目にすることができない人体の構造を間近で見ることができます。参加しているほとんどが医療や生物分野への進学を希望している3年生の生徒であり、その生徒たちにとってこれからの受験に対するモチベーションの向上や将来まで見据えた大変貴重な経験となっています。

言語の壁を乗り越えるグローバル研修

夏に2泊3日で韓国に、春には約3週間でオーストラリアに行き、ホームステイを含めた海外研修を経験することができます。英語力を伸ばすことも大切ですが、最も大切なことは自国にはないものを肌で感じて、異文化理解を深めることで今後の生徒たちの進路に大きく影響を与えるきっかけを作ることを目的としています。

オーストラリア研修では、現地の高校生とパディを組み、パディが日頃受けている授業に参加しながら学校生活を共にすることで絆を深めました。郊外ではGold Coastで写真撮影やショッピングを楽しみ、Currumbin動物園でオーストラリアの貴重な動物とも触れ合いました。研修に参加した生徒たちは、恥ずかしさをもち素直に自分らしさを出し、積極的にコミュニケーションを図ることで「自信」や「行動力」を身につけることができました。



Junior High School

iPadで学校生活が変わりました！

2022年度から生徒は「iPad」を持って学校生活を過ごすようになり、授業や勉強の仕方が大きく変わりました。

授業はもちろん、日々の小テストや毎日の宿題、発表、校外活動などでも積極的に活用されています。

iPadによって効率的に学習することができるようになり、生徒たちからも好評です。また、中学校は「荷物の軽量化」にも力を入れています。学校のロッカーと、iPadを活用して持ち帰りする荷物を最小限にとどめています。

このように、iPadは九国付中のスクールライフに欠かせないツールになっています。



新マスコットキャラクター誕生！

創立25年目を迎えた節目の年に、新しいマスコットキャラクターが誕生しました！九国付中の合言葉「K点突破」から、「トッパーくん」と名付けられました。キャラクターデザインは卒業生の伊藤楓さん(2024年卒)です。中学では、これからいろいろなところでトッパーくんが登場します！



インスタグラム始めました

九国付中の雰囲気や、授業や行事の様子をたくさん投稿しています。また、オープンスクールやツアーなどイベントのご案内もしております。ぜひ一度ご覧いただき、「いいね」「フォロー」をお願いします。



学校法人 九州国際大学 令和5年度 決算状況

学校法人会計は「予算制度」が採用されており、会計年度毎に作成された予算に基づき教育活動等を実施しています。これらの諸活動の結果をあらわす令和5年度の本法人の決算状況について、事業活動収支計算書をもとに説明いたします。

この事業活動収支計算書は、当該年度の収支の均衡状態を明らかにすることを目的としており、経常的な収支である「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的収支である「③特別収支」の3つの区分で構成されております。「①教育活動収支」における収入は38億7,491万円、支出は36億9,294万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、1億8,197万円の収入超過となっています。「②教育活動外収支」における収入は533万円、支出は0円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、533万円の収入超過となっています。「③特別収支」における収入は6,180万円、支出は1,666万円となり、当該区分における特別収支差額は4,513万円の収入超過となっています。これらを総じて、事業活動収入は39億4,203万円、事業活動支出は37億960万円となっています。

このように区分毎の収支を踏まえた本法人の決算は、基本金組入前当年度収支差額が2億3,244万円の収入超過となり、当年度収支差額も1億2,969万円の収入超過となっています。

なお、本法人が保有する金融資産の増減について、令和6年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券7億151万円含む）は39億7,503万円となり、前年度末より3億1,329万円増加しました。「退職給与引当特定資産」は9億3,678万円で、学校法人学会計基準に基づき当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は将来の施設設備の更新に備え、1億円を繰入れ18億6,444万円となっています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して4億477万円増加しています。

(注) 単位(万円)未満は四捨五入して表記しています。

事業活動収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

①教育活動収支	収入事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	2,568,174	2,566,570	1,604
②教育活動外収支	支出事業活動	手数料	76,465	76,514	△ 49
		寄付金	11,044	11,324	△ 280
		経常費等補助金	1,065,495	1,061,486	4,009
		付随事業収入	54,193	52,780	1,413
		雑収入	105,122	106,233	△ 1,111
		教育活動収入計	3,880,493	3,874,907	5,585
	支出事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	2,101,285	2,101,283	2
		教育研究経費	1,272,188	1,233,894	38,294
		管理経費	379,630	357,759	21,871
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計		3,753,103	3,692,936	60,167	
教育活動収支差額		127,390	181,973	△ 54,583	
③特別収支	収入事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	5,700	5,329	371
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	5,700	5,329	371
	支出事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出		0	0	0	
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額		5,700	5,329	371	
経常収支差額		133,090	187,302	△ 54,212	
基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した額	収入事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	49,260	61,795	△ 12,535
		特別収入計	49,260	61,795	△ 12,535
	支出事業活動	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	15,381	16,483	△ 1,102
		その他の特別支出	120	178	△ 58
		特別支出計	15,501	16,661	△ 1,160
	特別収支差額		33,759	45,134	△ 11,375
	[予備費]		8,740	8,740	
基本金組入前当年度収支差額		158,109	232,436	△ 74,327	
基本金組入額合計		△ 102,445	△ 102,741	296	
当年度収支差額		55,664	129,695	△ 74,031	
前年度繰越収支差額		△ 5,633,774	△ 5,633,774	0	
基本金取崩額		379,344	387,106	△ 7,762	
翌年度繰越収支差額		△ 5,198,766	△ 5,166,974	△ 81,793	

(参考)				
事業活動収入計	3,935,453	3,942,033	△ 6,580	
事業活動支出計	3,777,344	3,709,597	67,747	

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

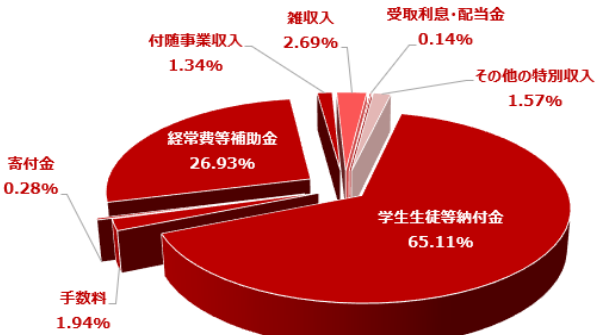
【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

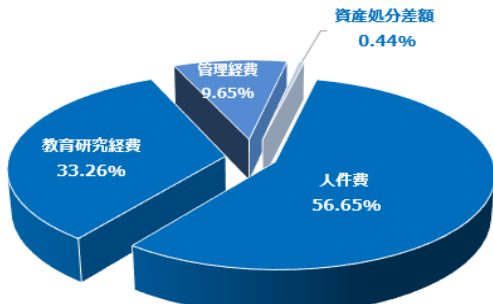
事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計（3,942百万円）



事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出計（3,709百万円）



(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。

資金収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,568,174	2,566,570	1,604
手数料収入	76,465	76,514	△ 49
寄付金収入	47,680	47,831	△ 151
補助金収入	1,078,119	1,080,945	△ 2,826
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	54,193	52,780	1,413
受取利息・配当金収入	5,700	5,329	371
雑収入	105,122	105,258	△ 136
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	334,740	347,409	△ 12,669
その他の収入	153,032	657,151	△ 504,119
資金収入調整勘定	△ 435,094	△ 458,563	23,469
前年度繰越支払資金	3,160,222	316,022	0
収入の部合計	7,148,352	7,641,446	△ 493,094
支出の部	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,108,837	2,108,835	2
教育研究経費支出	981,793	944,497	37,296
管理経費支出	344,500	321,632	22,868
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	133,895	133,810	85
設備関係支出	40,829	37,699	3,130
資産運用支出	300,000	800,074	△ 500,074
その他の支出	40,640	69,855	△ 29,215
[予備費]	8,746		8,746
資金支出調整勘定	△ 21,586	△ 48,474	26,888
次年度繰越支払資金	3,210,699	3,273,516	△ 62,817
支出の部合計	7,143,352	7,641,446	△ 493,094

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

貸付金の回収額。特定の目的のために積立てた預金（退職・減価償却）等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます（新入生の入学金・授業料等）。

【資金調整勘定（資金収入調整勘定、資金支出調整勘定）】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。
資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。
具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に附属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

活動区分資金収支計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

	科 目	金 額
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	2,566,570
	手数料収入	76,514
	特別寄付金収入	11,195
	経常費等補助金収入	1,061,486
	付随事業収入	52,780
	雑収入	105,258
	教育活動資金収入計	3,873,803
	人件費支出	2,108,835
	教育研究経費支出	944,497
	管理経費支出	321,511
施設整備等活動による資金収支	教育活動資金支出計	3,374,843
	差引	498,959
	調整勘定等	29,766
	教育活動資金収支差額	528,725
	科 目	金 額
	施設設備寄付金収入	36,636
	施設設備補助金収入	19,458
	減価償却引当特定資産取崩収入	400,000
	施設整備等活動資金収入計	456,094
	施設関係支出	133,810
その他の活動による資金収支	設備関係支出	37,699
	減価償却引当特定資産繰入支出	500,003
	施設整備等活動資金支出計	671,512
	差引	△ 215,418
	調整勘定等	10,550
	施設整備等活動資金収支差額	△ 204,868
	小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）	323,857
	科 目	金 額
	退職給与引当特定資産取崩収入	108,600
	仮払金回収収入	149
その他の活動による資金収支	修学・研修旅行費預り資産取崩収入	4,185
	小計	112,934
	受取利息・配当金収入	5,329
	その他の活動資金収入計	118,263
	有価証券購入支出	200,000
	退職給与引当特定資産繰入支出	100,072
	修学・研修旅行費預り金支払支出	4,167
	預り金支払支出	24,276
	小計	328,515
	過年度修正支出	121
その他の活動による資金収支	その他の活動資金支出計	328,636
	差引	△ 210,372
	調整勘定等	△ 191
	その他の活動資金収支差額	△ 210,563
	支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	113,294
	前年度繰越支払資金	3,160,222
	翌年度繰越支払資金	3,273,516
	科 目	金 額
	退職給与引当特定資産取崩収入	108,600
	仮払金回収収入	149

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、国または地方公共団体等から補助を受けています。これら補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準（昭和46年文部省令制定）」という会計ルールに従い計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

このように、公共性・安定性・継続性が求められる私立学校においては、中長期的にわたって永続的な経営を維持するために収支均衡を図るべく、適正な会計処理を行うための統一的な学校法人会計基準が定められています。

企業会計と学校法人会計の違い

教育・研究活動を事業目的とする学校法人会計は、学校法人の永続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、「教育水準の維持向上」、「収支均衡」、「予算主義」という3つの概念に基づき運営され、収支の均衡と財政の状態を正しく捉えることを目的としています。

一方、営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、企業の財政状態を知ることによって、より高い収益を追求することを目的としています。

このように、一般企業は利益を得る目的で存在していますが、学校法人は教育研究活動を目的とした非営利法人です。法人の存在理由が異なるため、会計の目的が異なっています。

計算書類について

（1）資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金（現金及び預貯金）の期末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。
活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度（様式）ではないため、予算書の作成は求められていません。

（2）事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。計算書の構造は、本業である教育・研究活動（教育活動収支）と財務活動で生じる利息等（教育活動外収支）、資産売却等の臨時的収支（特別収支）に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

（3）貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
科目	R5	R4	増減	科目	R5	R4	増減
固定資産	17,055,677	16,928,918	126,759	固定負債	936,779	945,307	△ 8,528
●有形固定資産	13,514,927	13,679,643	△ 164,716	●退職給与引当金	936,779	945,307	△ 8,528
土地	5,270,389	5,270,389	0	流動負債	533,404	570,576	△ 37,172
建物	5,425,121	5,568,246	△ 143,125	短期未払金	47,808	40,122	7,687
構築物	515,530	504,585	10,945	前受金	347,409	372,176	△ 24,767
●教育研究用機器備品	374,311	414,169	△ 39,858	仮受金	0	0	0
●管理用機器備品	48,445	49,851	△ 1,406	預り金	55,568	79,844	△ 24,276
図書	1,876,727	1,867,999	8,728	修学・研修旅行費預り金	82,618	78,433	4,185
車両	4,404	4,404	0	負債の部合計	1,470,183	1,515,882	△ 45,670
建設仮勘定	0	0	0	純資産の部			
特定資産	2,801,221	2,709,746	91,475	科目	R5	R4	増減
●退職給与引当特定資産	936,778	945,306	△ 8,528	基本金	24,146,742	24,431,107	△ 284,365
●減価償却引当特定資産	1,864,443	1,764,440	100,003	第1号基本金	23,875,742	24,160,107	△ 284,364
●その他の固定資産	739,529	539,529	200,000	第4号基本金	271,000	271,000	0
電話加入権	3,203	3,203	0	繰越収支差額	△ 5,116,974	△ 5,633,774	516,801
有価証券	701,512	501,512	200,000	翌年度繰越収支差額	△ 5,116,974	△ 5,633,774	516,801
預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	19,029,769	18,797,333	232,436
流動資産	3,444,274	3,384,297	59,977	負債及び純資産の部合計	20,499,952	20,313,215	186,737
●現金預金	3,273,516	3,160,222	113,294				
●未収入金	86,387	144,274	△ 57,888				
●貯蔵品	336	407	△ 72				
修学・研修旅行費預り資産	82,396	78,229	4,167				
前払金	1,291	666	625				
仮払金	349	498	△ 149				
資産の部合計	20,499,952	20,313,215	186,737				

【有価証券】

国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的（短期的）な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【現金預金】

現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】

長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。

【預り金】

給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【繰越収支差額】

当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

事業活動収支計算書（経年比較）

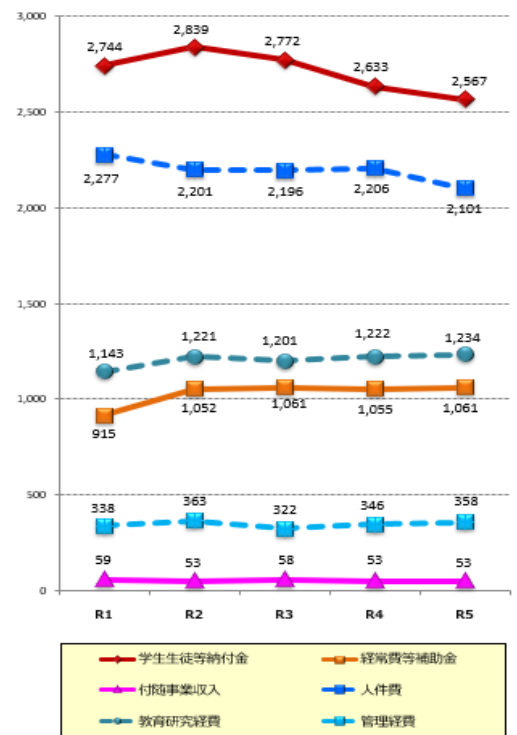
(単位：千円)

科 目		R1	R2	R3	R4	R5
教育活動収支	収入					
	学生生徒等納付金	2,743,698	2,838,953	2,772,455	2,633,069	2,566,570
	手数料	76,139	72,325	70,797	71,304	76,514
	寄付金	4,392	1,337	15,834	6,710	11,324
	経常費等補助金	915,401	1,052,023	1,060,503	1,054,534	1,061,486
	付随事業収入	58,895	53,329	57,993	53,336	52,780
	雑収入	306,912	171,819	144,582	164,226	106,233
	教育活動収入計	4,105,437	4,189,786	4,122,164	3,983,179	3,874,907
	人件費	2,277,324	2,201,371	2,196,165	2,206,244	2,101,283
	教育研究経費	1,143,457	1,220,856	1,201,326	1,222,010	1,233,894
教育活動外収支	支出					
	管理経費	338,376	363,409	321,957	345,600	357,759
	徴収不能額等	119	30	0	0	0
	教育活動支出計	3,759,276	3,785,666	3,719,448	3,773,854	3,692,936
	教育活動収支差額	346,161	404,120	402,716	209,324	181,973
	収入					
	受取利息・配当金	4,909	4,807	4,201	3,865	5,329
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	4,909	4,807	4,201	3,865	5,329
	支出					
	借入金等利息	1,000	236	0	0	0
特別収支	教育活動外支出計	1,000	236	0	0	0
	教育活動外収支差額	3,909	4,571	4,201	3,865	5,329
	経常収支差額	350,072	408,691	406,917	213,189	187,302
	収入					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	24,789	17,846	62,186	46,976	61,795
	特別収入計	24,789	17,846	62,186	46,976	61,795
	支出					
	資産処分差額	47,340	2,308	2,202	1,967	16,483
	その他の特別支出	645	0	13,775	0	178
事業活動収支計算書（経年比較）						
基本金組入前当年度収支差額		326,874	424,229	453,126	258,198	232,436
基本金組入額合計		0	△ 277,103	△ 225,124	△ 225,727	△ 102,741
当年度収支差額		326,874	147,126	228,002	32,470	129,695
前年度繰越収支差額		△ 6,576,464	△ 6,041,373	△ 5,894,247	△ 5,666,245	△ 5,633,774
基本金取崩額		208,215	0	0	0	387,106
翌年度繰越収支差額		△ 6,041,375	△ 5,894,247	△ 5,666,245	△ 5,633,774	△ 5,166,974
(参考)						
事業活動収入計		4,135,135	4,212,439	4,188,551	4,034,019	3,942,033
事業活動支出計		3,808,261	3,788,210	3,735,425	3,775,822	3,709,597

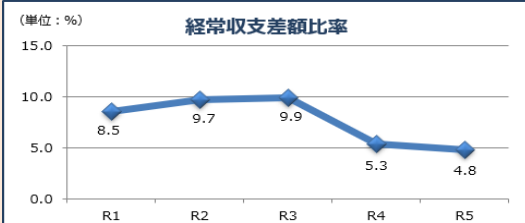
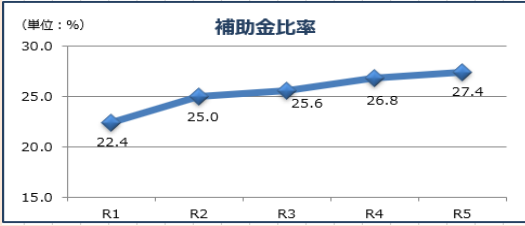
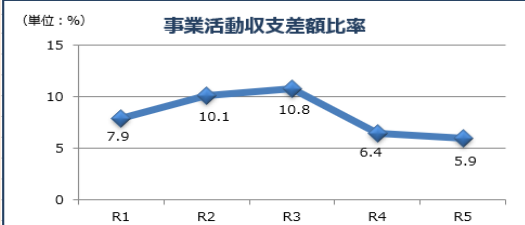
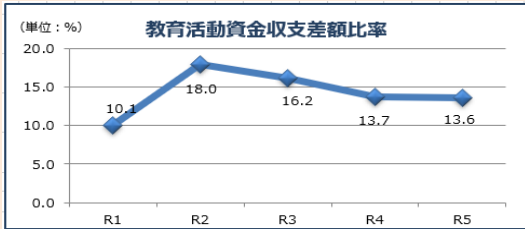
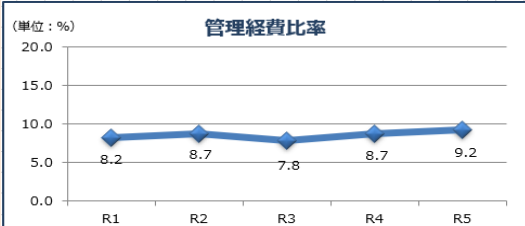
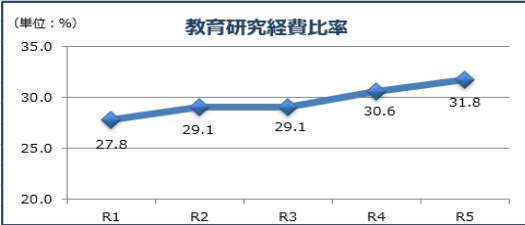
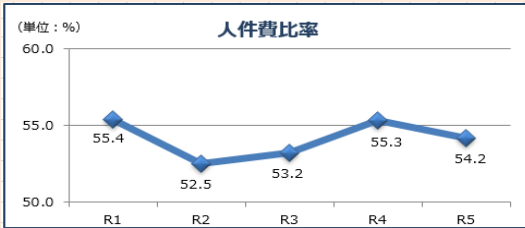
(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。

事業活動収支の主な科目の推移

(単位：百万円)



実線（—）は、収入科目、破線（---）は、支出科目です。



(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

【△: 高い値が良い ▼: 低い値が良い —: どちらともいえない】

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産＝特定資産＋有価証券（固定資産）＋有価証券（流動資産）＋現金預金
- ② 外部負債＝借入金＋学校債＋未払金＋手形債務
- ③ 要積立額＝減価償却累計額＋退職給付引当金＋第2号基金＋第3号基金

貸借対照表関係財務比率

No.	比 率	算 式	R1	R2	R3	R4	R5	評価
1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	% 85.3	% 83.7	% 83.2	% 83.3	% 83.2	▼
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産 総資産	% 71.6	% 70.3	% 68.6	% 67.3	% 65.9	▼
3	特定資産構成比率	特定資産 総資産	% 12.4	% 12.7	% 12.9	% 13.3	% 13.7	△
4	流動資産構成比率	流動資産 総資産	% 14.7	% 16.3	% 16.8	% 16.7	% 16.8	△
5	固定負債構成比率	固定負債 総負債＋純資産	% 4.9	% 4.8	% 4.7	% 4.7	% 4.6	▼
6	流動負債構成比率	流動負債 総負債＋純資産	% 4.1	% 3.4	% 3.0	% 2.8	% 2.6	▼
7	内部留保資産比率	運用資産－総負債 総資産	% 17.6	% 20.2	% 22.5	% 23.9	% 25.9	△
8	運用資産余裕比率	運用資産－外部負債 経常支出	年 1.4	年 1.5	年 1.6	年 1.7	年 1.8	△
9	純資産構成比率	純資産 総負債＋純資産	% 91.1	% 91.8	% 92.2	% 92.5	% 92.8	△
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 総負債＋純資産	△ 31.2	△ 29.9	△ 28.2	△ 27.7	△ 25.0	△
11	固定比率	固定資産 純資産	% 93.7	% 91.1	% 90.2	% 90.1	% 89.6	▼
12	固定長期適合率	固定資産 純資産＋固定負債	% 88.9	% 86.7	% 85.8	% 85.7	% 85.4	▼
13	流動比率	流動資産 流動負債	360.6	473.8	554.7	593.1	645.7	△
14	総負債比率	総負債 総資産	% 8.9	% 8.2	% 7.8	% 7.5	% 7.2	▼
15	負債比率	総負債 純資産	% 9.8	% 8.9	% 8.4	% 8.1	% 7.7	▼
16	前受金保有率	現金預金 前受金	% 545.9	% 692.6	% 892.3	% 849.1	% 942.3	△
17	退職給付引当特定資産保有率	退職給付引当特定資産 退職給付引当金	% 100.0	% 100.0	% 97.9	% 100.0	% 100.0	△
18	基本金比率	基本金 基本金要組入額	% 99.9	% 100.0	% 100.0	% 100.0	% 100.0	△
19	減価償却比率	減価償却累計額（図書を除く） 減価償却資産取得価額（図書を除く）	% 58.5	% 59.5	% 60.5	% 61.6	% 62.8	—
20	積立率	運用資産 要積立額	% 48.9	% 51.9	% 54.7	% 55.8	% 58.0	△

事業活動収支計算書関係比率

No.	比 率	算 式	R1	R2	R3	R4	R5	評価
1	人件費比率	人件費 経常収入	% 55.4	% 52.5	% 53.2	% 55.3	% 54.2	▼
2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	% 83.0	% 77.5	% 79.2	% 83.8	% 81.9	▼
3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	% 27.8	% 29.1	% 29.1	% 30.6	% 31.8	△
4	管理経費比率	管理経費 経常収入	% 8.2	% 8.7	% 7.8	% 8.7	% 9.2	▼
5	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	% 0.0	% 0.0	% 0.0	% 0.0	% 0.0	▼
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	% 7.9	% 10.1	% 10.8	% 6.4	% 5.9	△
7	基本金組入後収支比率	事業活動収入－基本金組入額 事業活動収入	% 92.1	% 96.3	% 94.2	% 99.1	% 96.6	▼
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	% 66.8	% 67.7	% 67.2	% 66.0	% 66.1	—
9	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	% 0.5	% 0.5	% 1.6	% 0.6	% 1.4	△
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経常収入	% 0.1	% 0.0	% 0.4	% 0.2	% 0.3	△
10	補助金比率	補助金 事業活動収入	% 22.4	% 25.0	% 25.6	% 26.8	% 27.4	△
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	% 22.3	% 25.1	% 25.7	% 26.4	% 27.4	△
11	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	% 0.0	% 6.6	% 5.4	% 5.6	% 2.6	△
12	減価償却額比率	減価償却額 経常支出	% 7.9	% 8.1	% 8.3	% 8.7	% 8.8	—
13	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	% 8.5	% 9.7	% 9.9	% 5.3	% 4.8	△
14	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	% 8.4	% 9.6	% 9.8	% 5.3	% 4.7	△

(注) 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

「経常支出」＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比 率	算 式	R1	R2	R3	R4	R5	評価
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	% 10.1	% 18.0	% 16.2	% 13.7	% 13.6	△

(注) 教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

学園へのご支援をお考えのみなさまへ

学校法人 九州国際大学

■大学 法学部／法律学科 現代ビジネス学部／地域経済学科・国際社会学科
■大学院 法学研究科
■付属高等学校 難関クラス／S特進クラス／特進クラス／進学クラス／トッパスリーディングクラス
■付属中学校

2030年の創起100周年に向けて

Habataku みらい募金

学校法人 九州国際大学

地域とつながりながら
未来へ羽ばたくために

本学園では建学の理念でもある「塾的精神」に基づき、開学以来の使命である北九州地域の発展や活性化に寄与することができる人材育成に力を注いでおります。2030(令和12)年の創起100周年に向けて、学生や生徒たちが地域とつながりながらさらに大きく羽ばたいていくことを願い、新たな寄附金制度「Habatakuみらい募金」を設置いたしました。今後も本学園を支えてくださるみなさまから、より一層信頼され、評価をいただけますよう教職員一丸となって教育改革に邁進してまいります。募金の主旨にご賛同いただき、温かいご支援、ご協力を賜りますよう、慎んでお願い申し上げます。



学校法人 九州国際大学
理事長 權堂 健司

Habataku みらい募金

◎募集期間/2028年3月31日まで ◎目標額/1億円

[募金の活用法について]

みなさまからいただいた浄財は、希望されるサポート内容に充当させていただきます。

1 教育・研究サポート

特色ある教育及び
研究を充実させるための
環境整備。

2 就職・進学サポート

就職実績、進学実績の
質的・量的向上に
向けた取り組み。

3 地域連携サポート

地域の発展に寄与し、
地域社会に貢献できる
人材育成。

4 国際人育成サポート

国際人に必須の語学力強化、
海外協定校との
異文化交流など。

5 課外活動サポート

友と切磋琢磨する
時間を育む
体育系・文科系部活動の活性化。

6 施設・設備拡充サポート

安全で充実した
学校生活のための
施設・設備の拡充と整備。

7 使途指定募金サポート

〈思いをカタチに。支援したいコトやモノをご指定いただける〉

特定のクラブ活動の全国大会出場を応援したい、留学する学生・生徒の支援をしたいなど、
使途や目的を指定してご支援いただくオーダーメイド感覚の募金です。

※とくに使途の指定がない場合は教育研究活動に充当させていただきます。

※詳細は、「学校法人九州国際大学ホームページ」をご確認ください。 <https://www.kiu.ac.jp/hq/contribution/>

学校法人 九州国際大学 法人事務局寄附金担当

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号

TEL:(093)671-8900 内線8220 FAX:(093)671-9032

E-mail:kifu@office.kiu.ac.jp

お問い合わせ先

